

左京東都 しきひき通信

Vol.3
October.2015

発行：左京東部いきいき市民活動センター
発行日：平成28年1月1日

あけましておめでとうございます。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
左京東部いきいき市民活動センターは、本年多くの方に市民活動の場として活用していただける
明るく開かれた施設であるように、職員一同努力をしてまいりたいと思います。

レポート① さきよーラ and サンポーヨシ音楽会

去る12月21日、さきよーラ and サンボーコンサート
今回はその模様をお伝えします。



8月から4回の練習会を通して、ご参加いただきたい方とともにどんな音楽会ができるのか——外郎売（ういらううり）の口上、江州音頭や歌謡曲や唱歌に演歌、様々なスタイルの音楽や表現にみんなで挑戦し、「歌を音頭化して、なんでも踊ってしまう」というテーマのもとに音頭バンド「サンポーヨシ」の演奏に乗せてたくさんの方々と一緒に音楽を楽しむことを目的とした音楽会を、12月21日に開催いたしました。

盆踊りの装飾で使った提灯と紅白幕で会場の飾り付けをしたところ、不思議とクリスマスマードも出てきて、楽しい雰囲気たっぷりで参加者の方々をお迎えいたしました。

音楽会の始まりはフルートデュオ「しまーん & たちーん」さんの演奏から。和や

かな雰囲気でフルート2本が美しく絡み合って演奏に酔いしれていました。

続いて「京大ジャズ研」さんによるスタンダードジャズ演奏では、ジャズアレンジのクリスマスソングも飛び出し会場はクリスマスムードに包まれました。

三番手の「昭和どんぢゃらりん」さんは歌と芝居が混ざり合ったようなファンシーでありシユールな世界観でお客さんを魅きつけました。

続く「UOE」のみなさんは色んな楽器非楽器による倍音溢れる吸い込まれるような音世界を作り上げてくれました。

今回唯一、楽器の演奏ではなくジャグリングを披露して下さった「ピントクル」さん、みんなハラハラして見守る中をひとつひとつ技を決めていきました。気持ちよく



技が決まつていき、会場はとても熱気に包まれました。6歳の男の子が一生懸命観ていた姿が印象的でした。

続いてゼスト御池のオイケ合唱団から「ひっしょに歌おう」のみなさんが出演され、旧く懐かしい歌を三曲披露してくださいました。歌詞カードを配つてグループ名通りのまさにみんなで一緒に歌う楽しい時間を過ごしました。

次に音頭バンド「サンボーヨシ」も懐かしい楽曲「十九の春」を披露し、引き続き音頭取りである、わだこさんが加わった編成での江州音頭では手作りの櫓を囲んでの盆踊り大会となりました。

最後に地域楽団育成事業である「さきよーラ（左京区+オーケストラ）」としての全員でのセッションタイムとなり、京大ジャズ研さんのによる「サンタが街にやってくる」に全員が参加するかたちで、みんなでステージに立ちました。

また最後は打楽器での当日飛び入り参加の方もおられ、最終的に10代から80代まで幅広い世代の方々が参加された、音楽
「〇によるとても賑やかな交流・発表の場となりました。

当日はあいにくのお天氣で寒い雨降りの夜となりましたが、とてもあたたかい雰囲気で音楽会を終えることができ、はじめは緊張の色も見えた参加者のみなさんも、さきよーラセッションを経て次第に打ち解けていったよう見えました。

これからも、樂器経験を問わず、みんなと音を鳴らしたい・音に合わせて踊りたいという方の（ご）参加をお待ちしております。

参加してくださったみなさま、観に来てくださったみなさま、どうもありがとうございました。
(長谷川)

レポート② 私の昭和思い出マップ展～錦林・醍醐編～



前回のいきいき通信で紹介した『わたしの思い出マップ展～錦林・醍醐編～』。2015年10月24日(土)から11月15日(日)まで開催され、のべ828人の方に来場いただきました。「場所」というテーマのもと、錦林・醍醐地域にお住いのシニア世代の方にお聞きした地域の思い出話を、思い出の場所で撮影した、語り手の方の写真とともに展示しようというが、今回の企画です。公の歴史ではなく、地域に根ざした個人的な思い出をまとめることで、次の世代に生きた歴史を伝え、地域の方々に共感・親しみをもってもらえることを目指しました。

今回の展示会企画はまず、広げた地図をみんなで囲んで、場所にまつわる質問に答えていくことで思い出話を喋り合う茶話会から始まりました。子供の頃によく遊んだ場所や、よく行った店、市電・市バスの思い出から、鴨川や疎水、大文字などの伝統事業、地域の行事やお祭りの思い出、戦争の記憶、心に残る風景、自慢したい、おすすめの場所など、展示しきれないほどのさまざまな魅力的なお話を聞くことができました。その中から展示会に協力していただけたことになっ

た11名(63歳～84歳)の方と、その思い出の場所に実際に赴き、さらに詳しい話と写真撮影をしました。

展示会期間中は、当センターの表門を入ってすぐのエントランスに展示された写真と思い出話を、来館された沢山の方に見ていただきました。特に、初日の10月24日に開催された「おさんぽコレクション(前回のいき通で紹介した当センターの企画です)」に参加された方々には、長い道のりを歩いてきたにも関わらず、とても楽しそうに写真をご覧いただけました。また、展示内容をまとめたコンパクトサイズのマップ冊子も好評で、多くの方に持ち帰っていました。展示会を見た方、マップを見た方に、錦林・醍醐地域の魅力が少しでも伝わっていれば幸いです。

展示会は終了しましたが、希望される方には当センター事務室にてマップ冊子を配布いたしますので、どうぞお気軽にスタッフにお声がけください。今年も新たな思い出語りの企画を予定しております。より多くの方に、ご自身の心に残る思い出を、思う存分語っていただければ、と思っています。(稻葉)



レポート③ ひょうたんを育てています

前回のリポートから3ヶ月、ひょうたんの収穫を終え加工作業を行っています。
今回は、その過程をお伝えしたいと思います。

3ヶ月前のひょうたん

- 1 まずは穴あけ作業です。ひょうたんが茎と繋がっていた部分に、ドリルでガリガリと1センチほどの穴を開けていきます。中には白っぽい身が見えますが、割り箸で身をかきまわしておきます。
- 2 それらを水に浸け、表面の薄皮、そして中身を腐らせていきます。数はざっと50個ほど。
- 3 そこから1ヶ月ほど待ちます。廊下の隅っこにずっと置き、3週間ほどするとひょうたんの腐った独特の匂いがしてきました。
- 4 時間は流れ、いよいよ水から引き上げます。薄皮と、どろっとした中身、そして種を取り出し洗います。
- 5 逆さにして割り箸にさしたり、紐で吊ったりして乾燥させていきます。2週間ほどして完成となります。



ということで、全部で50個ほどのひょうたんが出来上がりました。
この先は、楽器に加工したり、ランプに加工したりと色々なアイデアが出ています。
春ころから、そういった加工をするワークショップをやろうかと相談中です。乞うご期待ください！

センター長のいきいきコラム

『市民活動の潜在力』

センター長 杉山準

先日、ある調査を見て興味を持ったのですが、それはある地域の住民に地元の劇場に足を運んだことがあるかどうかを尋ね、またその住民が、どのような余暇の過ごし方をしているのかを尋ねるというものでした。調査によるとよく劇場に足を運ぶ人は、地域活動にも積極的という結果でした。活動的な人は何に対しても積極的に行動する傾向があるということでしょうが、それはその町に限ったことではないと感じました。大都市部では活動の幅も種類も多様ですから、同じ結果になるとは限りませんが、行動的な人はやはりいろいろな活動をされている印象を持っています。当センターでは音楽や演劇といった文化活動のグループにもたくさん利用いただいています。その中には「自分の楽しみ」に重きを置いて活動している人ももちろんいらっしゃるでしょう。でも、それはうまいきっかけさえあれば「地域や他人のために活動する」ことに転換しやすい人達ではないかと感じていました。その調査報告はそれを裏付けてくれたような気がしました。そういう方々こそ、市民活動の潜在力と言えるのではないかでしょうか。

左京東部いきいき市民活動センター

市民活動を活性化するための事業運営・市民活動に関する相談・施設の貸出しをおこなっています。

- 施設の貸出し
 - 料金 (1時間)
 - 会議室・和室: 100円
 - 集会室: 200円
 - 多目的ホール・料理室: 500円
 - 市民活動に関する相談
 - 市民活動に関する情報公開
 - 貸しロッカー (800円/月)

左京東部いきいき市民活動センター
〒606-8432 京都府京都市左京区鹿ヶ谷高岸町3-2
TEL: 075-761-1385 / FAX: 075-752-3350
MAIL: info@se-ikiiki.com
URL: http://gekken.net/SE_IKIIKI/
開館時間: 10時～21時 (日曜日は17時まで)
休館日: 火曜日・年末年始 (12/29～1/4)
※高齢者ふれあいサロンは10時～16時半
火曜日、日曜日及び年末年始が休館日です。

アクセス: 京都市営地下鉄 跡上駅より徒歩15分
バス停「東天王町」より徒歩5分
※駐車場はございませんので、公共交通機関もしくは最寄りのコインパーキングをご利用ください。

